

近紫外線カットフィルムを利用した アスパラガスにおけるアザミウマ類の薬剤防除回数の低減

キーワード(アスパラガス、アザミウマ類、近紫外線カットフィルム、薬剤防除回数低減、減農薬、物理的防除)

要点

アスパラガス半促成長期どり栽培における近紫外線カットフィルム被覆は、慣行フィルム被覆に比べてアザミウマ類の密度増加を遅らせ、薬剤防除回数を $2/3 \sim 1/2$ に低減することが可能です。

内容

アスパラガス半促成長期どり栽培において、近紫外線カットフィルムを被覆するとアザミウマ類の密度抑制に有効であることが知られています。

そこで、本フィルムを被覆した圃場において、本種の密度推移およびその効果の特性を調査し、また、要防除水準を目安にした薬剤防除を組み合わせを行い、薬剤の使用回数低減の可能性を検討しましたので紹介します。

1. 近紫外線カットフィルムで被覆することにより、アザミウマ類の密度は慣行フィルムに比べて抑制され、約7~20日間遅れて増加します(図1)。
2. 要防除水準を目安にした薬剤防除を併せて行くと、近紫外線カットフィルム被覆下では、アザミウマ類に対する薬剤防除の回数を、慣行フィルム被覆下に比べて $2/3 \sim 1/2$ に低減できます(図2)。

その他

本フィルム被覆は、本種の飛来・侵入を少なくすることで密度抑制効果を発揮しますが、施設内での増殖は抑制しませんので、防除時期を逸しないよう慣行フィルム被覆と同様に注意する必要があります。

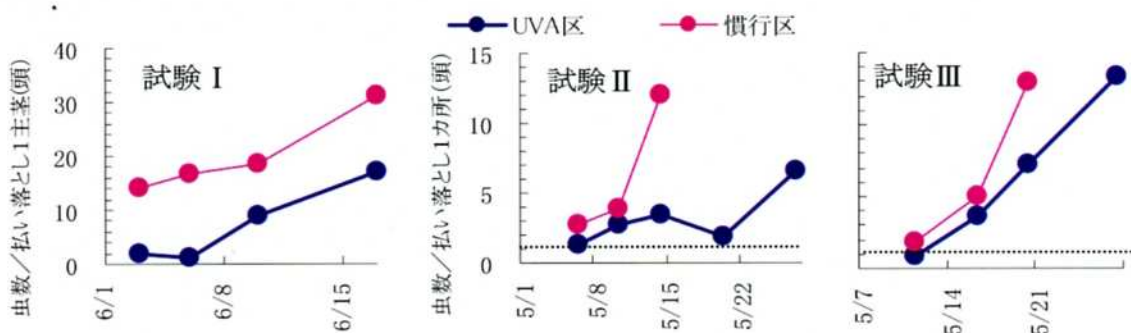


図1 アスパラガスのアザミウマ類発生初期におけるUVAフィルム被覆の密度抑制効果

試験年次及び試験場所、試験規模:

試験 I 平成 15 年 福岡県田川市夏吉 農家圃場 単棟ハウス 300 m²/区

試験 II 平成 16 年 長崎県総合農林試験場内 単棟ハウス 180 m²/区

試験 III 平成 17 年 " "

UVA 区: 近紫外線除去フィルム(390nm 以下を除去、PO フィルム 0.75 mm 厚) 外張り被覆

慣行区: 慣行フィルム(PO フィルム 0.75 mm 厚) 外張り被覆、-----: 要防除水準

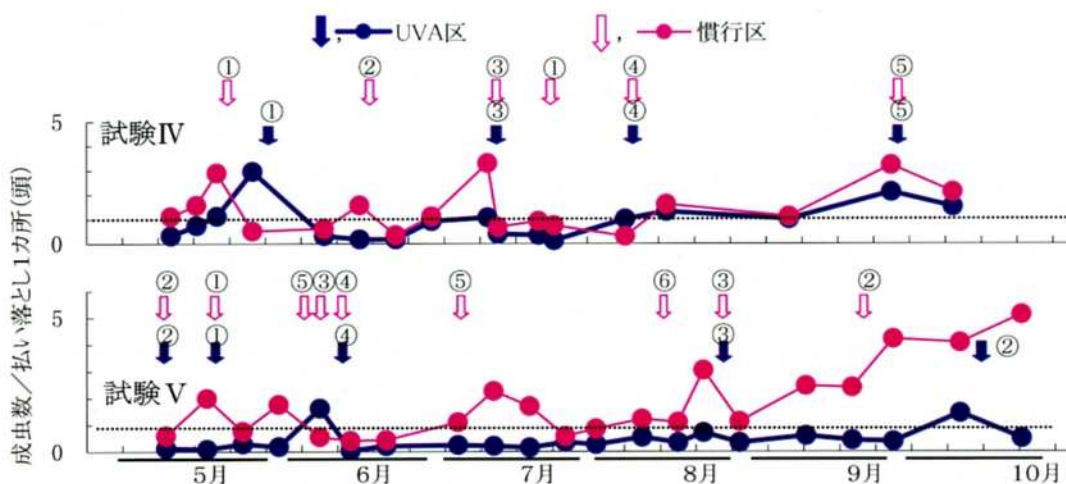


図2 アスパラガスのアザミウマ類に対するUVAフィルム被覆+薬剤散布体系の防除効果

試験年次及び試験場所、試験規模:

試験 IV 平成 17 年 長崎県総合農林試験場内 単棟ハウス 180 m²/区

試験 V 平成 17 年 佐賀県川副町犬井道 農家圃場 単棟ハウス 300 m²/区

-----: 要防除水準

薬剤散布(矢印): ①アセチムリト WP4000 倍、②スピノサド WGP5000 倍、③アクリナリン WP1000 倍

④フルフェクスロン E4000 倍、⑤エマクチン安息香酸塩 E2000 倍、⑥ヘルマトリン E2000 倍

問い合わせ先: 総合農林試験場病害虫科 (☎0957-26-3330)